

交通対策事業

既存バス路線の維持・充実と公共交通空白・不便地域※の解消を目標として、モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシーの運行を実施するとともに、一般乗合バス路線（岩湧線）の存続のため、南海バス㈱に補助金を交付した。

※ 公共交通空白・不便地域

…駅から800m、バス停から400m以上離れた住宅地域を公共交通空白地域、駅・バス停の両方から400m以上離れている住宅地域を公共交通不便地域としている。

1. バス路線維持費補助事業

岩湧線の運行継続のため、運行補助を行った。

(1) 利用者数

年度	利用者数
26年度	21,429人
27年度	21,332人

(2) 運行経費として、9,000,000円の補助を行った。

2. モックルコミュニティバス運行事業

バス路線ネットワークの充実によるバス利用者の増加及び主要公共施設へのアクセスの向上のため、モックルコミュニティバスの運行を行った。

(1) 利用者数

年度	利用者数
26年度	58,326人
27年度	55,733人

(2) 運行経費として、17,271,000円を負担した。

3. 日野・滝畑コミュニティバス運行事業

日野・滝畑地区の生活交通手段を確保するため、日野・滝畑コミュニティバスの運行を行った。また、奥河内くろまろの郷や滝畑ダムなどへの唯一の公共交通手段として、沿線施設とも連携しながら利用促進に努めた。

(1) 利用者数

年度	利用者数
26年度	78,002人
27年度	82,336人

(2) 運行経費として、28,808,395円を負担した。

4. 河内長野市地域公共交通会議における取組み

本市の状況に即した持続・発展できる公共交通体系を構築するため、河内長野市地域公共交通会議※に対して補助金を交付し、「河内長野市地域公共交通網形成計画」などに基づく具体的な取組みの検討や実施を推進した。

※平成27年度中の開催回数：4回（内1回は書面開催）

(1) バスマップ入り総合時刻表の作成・配布

バスマップのほか、バス・鉄道の時刻表や乗り場案内等の情報を掲載した市内公共交通の総合案内冊子を国からの補助も活用しながら作成、全戸配布をし利用促進に努めた。

- ・総合時刻表 50,000部 650,000円（国から半額補助あり）
- ・全戸配布料 47,472世帯 242,249円（国から半額補助あり）

(2) 観光資源と路線バスを活用した取組みの実施

バス利用促進を目的とした企画乗車券（モックルカード・ワイドモックルカード）の広報のため、チラシ・ポスターを国の補助を活用しつつ作成し、市内公共施設や小中学校へ配布した。また、沿線施設と連携し企画乗車券提示者には利用特典を用意するなど、より一層の利用促進やまちの活性化に努めた。

- ・チラシ 30,000部 79,500円（国から半額補助あり）
- ・ポスター 200部 40,000円（国から半額補助あり）

(3) モビリティマネジメントの実施

公共交通不便地域の住民を対象に、新たな公共交通を導入するための意識醸成を目的として、楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」の体験乗車を実施した。

- ・くるまる体験乗車チケット（体験乗車人数5名） 1,000円（国から半額補助あり）

(4) モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行運行及び日曜日限定同伴者割引の実施

上限200円運賃の試行運行を継続することで、公共施設や病院等への移動をしやすい利用環境を維持した。また、利用者1人につき同伴者1人を無料にするという同伴者割引（日曜日限定）も外出機会の創出や交流人口の増加を目的に継続実施した。

- ・上限200円運賃の試行運行および同伴者割引実施に伴う経費分 1,953,863円

(5) 路線バス千代田線上限200円運賃の試行運行

モックルコミュニティバスと約半分程度ルートが並走する路線バス千代田線においても上限200円運賃の試行運行を継続実施することで、運賃格差の不均衡を解消し、利用者にとっての利便性の向上を図った。

- ・上限200円運賃の試行運行実施に伴う経費分 208,785円

5. 楠ヶ丘地域乗合タクシーの運行

公共交通不便地域解消のため、楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」の運行を実施した。

- ・地域公共交通サービス運行負担金 2,092,314円
- ・利用者数 30,758人